

5年生は「働くということ」が学びのテーマでした



5年生は、6月21日（土）と23日（月）、それぞれ「スチューデント・シティ」と「日産自動車工場見学」という二つの学びを行いました。5年生は「働くということ」が大きなテーマです。

スチューデント・シティは、品川区教育委員会が、区内すべての小学校5年生で実施しているプログラムで、簡単に言うと「お仕事体験学習」になります。このプログラムを導入して、20年以上になるので、ご存じの方も多いかと思います。

当日は、城南第二小学校の5年生と一緒に参加しました。スチューデント・シティは、品川学園内に設置された仮想の街になります。区役所や銀行、コンビニエンスストアや薬局など、この街で「生活」していく上で必要な店舗等が、「街」の中に並んでいます。児童は、事前学習を教室で進めてきました。その中で、当日、どこで何の仕事をするかを事前に決めて、当日の学習を迎えています。

多くの保護者の方々にボランティアでご協力をいただきましたが、保護者のみなさんは各社の「先輩社員」という位置付けです。児童の「仕事」が円滑に進むよう、直接的に間接的にも大いに助けていただきました。会社によっては、本物の社員の方が、ボランティアで「先輩社員」をしてくださいました。大人の支えがあって初めて味わえる本物体験が、この学習の大きなポイントです。ちなみに、今年度からローソンが新規に出店していました。「街」にコンビニエンスストアが2店舗（もう一つはセブンイレブン）になりましたが、同業種店舗が2つあることについては、何も違和感はありませんでした。

もう一つは、翌週23日（月）の社会科見学です。工場内カメラ等の持ち込みが禁止でしたので、写真は初めのオリエンテーションの様子です。横須賀市の追浜にある日産自動車の工場に行きました。限られた時間の中で、見学コースに沿った見学でしたが、自動車という大きなものが、流れ作業の中で、機械の力を大いに借りながらどんどん組み立てられていく過程は、児童にとって（もちろん大人が見ても）大いに刺激になりました。

土・月と続けて、5年生と行動を共にしました。スチューデント・シティへの参加も工場見学も、興味や関心をもって積極的にかかわろうとする姿が印象的でした。「働くということ」に触れ続けた2日間でした。